

2020年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の蔓延により入校制限や厳しい制約、先が見えない不安など様々な困難がありました。そのような状況の中でも、日本体育大学 体育研究所に関わる多くの方のご協力、徹底した感染対策の下、なんとか研究活動を行なってくることができました。

現在、世界中の人々はコロナ禍による身体活動量の低下により心身の不調を抱えはじめ、改めて運動が健康の保持・増進に必須であることに注目が集まっています。研究プロジェクト2・3の報告にもありますように、体育研究所所員の先生方は先陣を切ってコロナ禍における身体活動量・運動と健康に関連する研究を行なってきました。コロナ禍に関連した暗い・悲しいニュースも多いですが、運動の重要性が世界中の人々に再認識されたこの機会を最大限に活かせるよう、我々がより一層、研究活動・研究成果の公開に努めていかなければならないという使命を感じた年となりました。コロナ下に合わせた新たな研究活動への取り組み方をしっかりと築き上げ、細心の注意を払いながら引き続き精進していきたいと思えます。

最後になりましたが、充実した内容の体育研究所雑誌2020年度版を無事完成させることができたのは、体育研究所所員の先生、プロジェクト研究に協力いただきました研究員・事務員の方々のご指導・ご協力があってこそのものであります。この場をお借りして御礼申し上げます。

小谷鷹哉